

EARTH ECO
MAIL MAGAZINE

アース・エコ メールマガジン

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、不定期にメールマガジンをお届けしています。

大船渡市の山林火災は、鎮圧は宣言されましたが未だ鎮火には至っていません。ニュースではしばしば三陸町綾里(りょうり)の地名が報道されましたが、ここには気象庁の大気環境観測所があるため、気象関係者には馴染の地名です。大船渡市の中心部から東南東約10kmに位置し、人口密集地から離れていて局地的な汚染源による影響を大きくは受けないことから、二酸化炭素やメタンの濃度を連続して観測しています。山林火災で観測装置への被害はありませんでしたが、大気観測は1か月間の中断を余儀なくされました。

令和7年度の活動方針

令和7年度(2025年度)がスタートしました。正式な事業計画は理事会での協議を経て、総会での承認により正式決定しますが、ここでは事業計画策定の基本的な考え方を示します。

トランプ政権がパリ協定から離脱し、他の主要な排出国の中にも気候変動対策に消極的な国があるため、パリ協定の目標達成は危機に瀕しています。自国の努力だけでは世界全体の成果にならないため、各国政府は国内問題や経済問題などへの対応を優先します。日本でも東南海地震や首都直下型地震の可能性が高まっていると言われ、更に富士山噴火の可能性も指摘されており、政府にはしっかりした対応が求められます。市民一人ひとりが気候変動対策の実践にどのようなモチベーションで取り組んだら良いかが問われます。その間にも気温上昇は続き、適応策がますます重要になるため、これからは適応策の普及・啓発が必要です。

アース・エコの会員の高齢化が一段と進み、健康上の問題など、活動に影響するリスクが顕在化してきました。昨年度、検討会で対応を検討し、可能な対策から実施に移してきました。十分対策できていない課題も多く残されていて、引き続き検討を継続します。

新型コロナ等の感染症は日常化した感じですが、活動の障害となるリスクの一つでもあるため、引き続き感染防止に注意して活動に取り組みます。

● 学校出前授業

引き続きアース・エコにとって最も重要な活動は学校出前授業です。小中学校では教員の働き方改革が検討され、今年度はその影響が心配されます。昨年度は小学校13校で授業を行いました。今年度も同程度の活動ができることを期待します。リピーターとなっている学校とは、引き続き良好な関係を維持し、強化したいと思います。理科系クラブ活動の支援は、昨年度は1校に留まりましたが、引き続き力を入れて行きます。

● 地域環境教育

親子を対象とする工作教室は大人向けの情報発信の機会として重要ですが、工作材料の準備の負担が大きいいため、開催回数や参加人数に注意して負担が増えないように計画します。

● 普及啓発

環境イベント等への出展は負担が大きい割に成果の評価が難しいため、引き続きアース・エコ単独での出展は行わず、さがみはら地球温暖化対策協議会等との連携を通じ、負担とならない範囲での活動を計画します。

● **インターネットを活用した活動**

会員の高齢化に伴うリスクへの対策として、ITの活用も重要であり、活動の効率化も念頭に、ITの活用に取り組みます。

● **その他の事業**

外部団体との連携については、引き続きさがみはら地球温暖化対策協議会との連携を維持します。

● **まとめ**

全体として、今年度も昨年度並みの活動を継続したいと思います。そのためにも皆様のご協力、ご支援が重要であり、引き続き宜しくお願い致します。

[桑原]



3月理事会・例会・合同勉強会を開催

3月26日(水)、3月理事会・例会・合同勉強会を会議室(フクシア団体交流室)主体+オンライン(meet)で開催しました。令和6年度の最後の例会です。参加者はアース・エコ会員10名、オブザーバー4名(うちオンライン参加者3名)の計14名でした。



会議室で参加した皆さん

3月理事会からの報告

アース・エコの運営に関する様々な課題とその対策について検討するため、昨年6月から今年3月まで、10回の検討会を開催してきました。3月例会の中で検討結果の概要をご報告しました。

協議事項は、引き続き電子メールの交換により協議、承認を行います。

3月例会

- 令和6年度に計画した活動は全て完了しました。
- 1~2月に実施した出前授業3件について、省エネカレンダーの集計結果等をご紹介します、意見交換しました。
- かながわ県民活動サポートセンターおよびフクシアのロッカーの活用について意見交換しました。

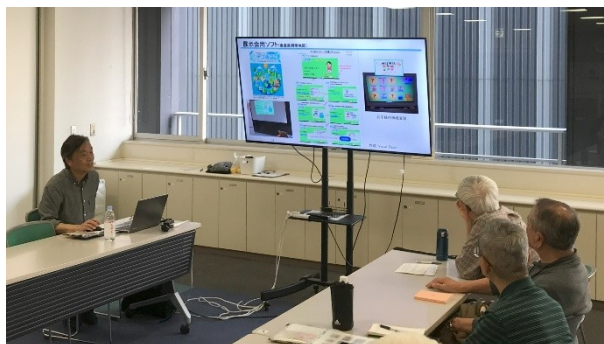
合同勉強会

手作り実験機の紹介

10月から12月まで3回の合同勉強会で「新講座についての検討」と題して新しい電子工作を紹介した環境学習リーダー会の会員※から、今回はイベントなどに出展できる新しい体験型実験装置の発表がありました。

ひとつは、以前の合同勉強会でも紹介した、赤緑青の3色のLEDによる光の三原色の実験装置を改良し、それぞれのLEDの明るさを段階的に変えて多彩な色が作れるようにした物です。また、100Vの電球の光をソーラーパネルに当て、光の当て方によって発電量が変わることを体験する実験装置もありました。更に、一人で手回し発電機を回して白熱電球とLED電球を交互に点灯させ、2種類の電球で手回し発電機を回す手応えが異なることを体験して消費電力の違いを理解する実験装置もありました。一定時間ごとに自動的に2つの電球が切り替わるようにしたのがアイデアでした。このほかにも実験装置の紹介がありましたが、実際のイベントなどで使われるのが楽しみです。

(※合同勉強会はアース・エコと環境学習リーダー会エネルギー部会の共催で開催しています。)



発表者(左)と発表を聞く参加者

これからの活動予定

令和6年度に計画した活動は全て終了しました。令和7年度の活動については決まり次第お知らせします。

4月例会・合同勉強会

4月23日(水)に会議室(フクシア)主体+オンライン(meet)での開催を予定しています。開催の詳細、オンラインでの参加方法等は会員の皆様には後日メールでお知らせします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

令和7年度通常総会の開催予定

日時:2025年5月21日(水)13:30-15:00 場所:かながわ県民センター705会議室

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学できます。

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡は

メール earth.eco.jimukyoku@gmail.com

ホームページ <https://npo-earth-eco.com/>

ホームページ



地球温暖化やボランティア活動に関心のある方 **私たちと一緒に活動しませんか？**